



多文化共生、多様性を尊重する社会をつくりたい

私は、平和で、人権が尊重され、社会保障や教育の機会が豊かに整備される社会を願っています。今回の参議院選挙を通じて、差別につながる発言や、外国人排斥の主張があつたことは大変残念なことでした。今は「私と違う誰か」に向けられた主張であつても、それはいつの日か「私に向けられる」と覚悟しなければなりません。そんな緊張を抱きながら過ごすこととなる社会にはしたくありません。

多様な人がいる、さまざまな意見がある、民主主義社会は、そのような中で、磨かれ、もがきながら成長する社会。その前提には互いに存在を尊重し合う姿勢が欠かせません。

この国の年齢構成は大きく変化し、年金制度や、医療・介護、さらには公共交通の課題などなど、社会的に解決しなければならない課題はたくさんあります。誰しもが豊かに生きていける社会づくりのため、政治が果たす役割は大きく、携わる者は、自分の懐を温めることに熱心であります。皆さんのが必要です。どうかよろしくお願いします。

岩切たつや

県議会便り

2025年7月
発行
県議 岩切たつや
住所 880-0942
宮崎市生目台東1
丁目6-8
電話 0985-89-5158



6月議会で一般質問

宮崎県では特に女性の転出超過が続いている。そのことが宮崎県における人口減少の要因となっていることから、働く場の改善など魅力的な環境整備が求められていると考え、知事に対して「女性局を設置して総合的な対策」を求めました。

また、新田原基地にF35Bを配備する計画が示される際に、着陸訓練はしないとしていたものを、馬毛島の基地整備の遅れを理由として、新田原基地で行いたいとした問題、また、T-4練習機の墜落事故原因究明を求めることが、さらにPFAS問題について、厳しく対応するよう知事に求めました。



6月議会の質問項目

- 1 女性人口の流出について
 - ・原因理解と解決策について
 - ・地域働き方・職場改革等推進会議への参加
 - ・「女性局」設置による総合的な対策の必要性等
- 2 新田原基地問題について
 - ・垂直着陸訓練実施問題等
- 3 福島原発事故の除染土受け入れについて
 - 4 福祉の課題について
 - ・CDR、プレコンセプションケアと包括的性教育、教育虐待
- 5 学校徴収金の問題について
 - ・教育にかかる費用の問題等
- 6 グラウンドの落雷防止について
- 7 林野火災について
- 8 農林業における死亡事故について
- 9 津波避難ビル等の数と日常の訓練実施について
- 10 木崎浜へのアクセス道路について
- 11 高千穂通り道路空間再編事業について



県議会録画のQRコードです

岩切たつやの 日常活動

冬から夏にかけて、参議院選挙に山内佳菜子さんを擁立して運動を進めました。立憲民主党に対する熱いご支援をいただき、良い結果を得ることができました。

国・県・自治体議員が力を合わせて、暮らし優先のまっとうな政治を実現します。→



恒例となってきた【あおぞら街角相談会】↑→
さまざまな思い、意見、疑問をお話しいただいています。



3月15日
県立プール
の完成式典
です。 ←



5月11日、立憲民主党宮崎県連大会です。引き続き県連幹事長の任をいただきました。党本部の大串博志選対委員長の激励をいただきました。↓



中央メーテーに労働組合とともに↓

委員会で県内の現場
をあちこち視察して
います。↓



よく街頭に立って演説をしています。月曜朝は山形屋前交差点で、車で出かけて訴えて回ることも←↓→



フローランテ宮崎で開かれた県里親会の交流イベントに参加。里親仲間や子どもたちとふれあう貴重な時間です→



皆さまの、県政に対するご意見、ご要望を
お聞かせください。
取り上げて、県民福祉の向上に寄与できるよう頑張っていきます。

様々な課題を行動していきます。



岩切達哉FacebookのQRコードです



二〇二五年前半は参議院選挙。この選挙では、差別や欺瞞にあふれた言説があります。許されないと考えます。差別や排斥と対峙して、誰もがより生きていきやすい寛容な社会を目指します。これからもまつとうな政治の実現を通じ、働く者の立場を向上させ、全ての子どもたちに幸福な未来があるように祈る。すると同時に、行動していきます。

1961年生、1979年県庁入庁し、児童相談所や福祉事務所等に勤務。その間、県職労委員長、PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。

2015年県議選に初当選し、現在3期目。議会内会派の「県民連合立憲」の会長、商工建設常任委員会委員、立憲民主党宮崎県連幹事長、社会福祉士、宮崎県里親会会長

